

# CASBEE<sup>®</sup> あいち

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)知多市新舞子計画	階数	地下0階地上2階
建設地	愛知県知多市新舞子字大瀬8番22-8番2	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	2,000 人
気候区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年8月 予定	評価の実施日	2025年10月1日
敷地面積	6,497 m <sup>2</sup>	作成者	有限会社河野建築設計事務所 橋本 好正
建築面積	4,756 m <sup>2</sup>	確認日	2025年10月1日
延床面積	5,386 m <sup>2</sup>	確認者	有限会社河野建築設計事務所 橋本 好正



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.5</b></p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p><b>標準計算</b></p> <p>①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>②建築物の取組み 62%</p> <p>③上記+②以外の 62%</p> <p>④上記+ 62%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。</p>	<p><b>Q のスコア = 1.9</b></p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア = 1.8</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア = 2.5</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア = 1.7</p>
LR 環境負荷低減性		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア = 3.0</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア = 3.3</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>4.5</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>1.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>9.5 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>2.8</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
(仮称)知多市新舞子計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:  
■評価ソフト:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き  
CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		住居・宿泊部分		全体									
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点										
		<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>1.9</b>							
<b>Q1 室内環境</b>										<b>1.8</b>									
<b>1 音環境</b>										<b>1.0</b>									
1.1 室内騒音レベル										0.2	1.0	0.20	-	-	-	-	-	-	-
1.2 遮音										3.0	1.0	0.40	-	-	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能										0.4	1.0	0.40	-	-	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能										-	1.0	1.00	-	-	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1.3 吸音										-	1.0	0.20	-	-	-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>										0.4	1.0	0.47	-	-	-	-	-	-	
2.1 室温制御										1.0	1.0	1.00	-	-	-	-	-	-	
1 室温		空調機器の設置なし								3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 外皮性能		展示室は評価対象外とする								3.0	1.0	1.00	-	-	-	-	-	-	
3 ゾーン別制御性		空調機器の設置なし								3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御		空調機器の設置なし								3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
2.3 空調方式		空調機器の設置なし								3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>										-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.1 昼光利用										-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 昼光率										3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 方位別開口										3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備										3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.2 グレア対策										-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1 昼光制御										5.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.3 照度		照明機器の設置なし								3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
3.4 照明制御		照明機器の設置なし								3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
<b>4 空気質環境</b>										0.3	3.4	0.33	-	-	-	-	-	-	
4.1 発生源対策										0.5	4.0	0.50	-	-	-	-	-	-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用								3.0	4.0	1.00	-	-	-	-	-	-	
4.2 換気										0.3	2.0	0.30	-	-	-	-	-	-	
1 換気量										3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	
2 自然換気性能										3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮										3.0	1.0	0.50	-	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理										0.2	4.0	0.20	-	-	-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視										3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙としている								3.0	5.0	0.50	-	-	-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>										-	-	0.30	-	-	-	-	-	-	
<b>1 機能性</b>										0.4	2.4	0.40	-	-	-	-	-	-	
1.1 機能性・使いやすさ										0.4	3.0	0.40	-	-	-	-	-	-	
1 広さ・収納性										3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応										3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		独自								3.0	3.0	1.00	-	-	-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性										0.3	1.0	0.30	-	-	-	-	-	-	
1 広さ感・景観 (天井高)										3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース										3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 内装計画										3.0	1.0	1.00	-	-	-	-	-	-	
1.3 維持管理										0.3	3.0	0.30	-	-	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計										3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保										3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>										0.3	2.9	0.31	-	-	-	-	-	-	
2.1 耐震・免震・制震・制振										0.4	3.0	0.48	-	-	-	-	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)										3.0	3.0	0.80	-	-	-	-	-	-	
2 免震・制震・制振性能										3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数										0.3	3.0	0.33	-	-	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		②								-	3.0	0.23	-	-	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		窯業系サイディング C O O L ミライ(鏡面仕上)ニチハ株式会社								-	2.0	0.23	-	-	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:ロールカーペット貼、内壁:タイル貼り、天井:不燃シフトン								-	5.0	0.09	-	-	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		換気:亜鉛鉄板ダクト0.5mm								-	3.0	0.08	-	-	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		2種類以上にB以上を使用								-	5.0	0.15	-	-	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		加圧給水ポンプ								-	2.0	0.23	-	-	-	-	-	-	
2.4 信頼性										0.1	2.6	0.19	-	-	-	-	-	-	
1 空調・換気設備		②								3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	
2 給排水・衛生設備		中央式空調換気設備を設けない								3.0	2.0	0.20	-	-	-	-	-	-	
3 電気設備		大便器6L程度/回程度								3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	
4 機械・配管支持方法										3.0	3.0	0.20	-	-	-	-	-	-	
5 通信・情報設備										3.0	2.0	0.20	-	-	-	-	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>				0.2	2.3	0.29	-	-	-	2.3
3.1 空間のゆとり				0.3	1.0	0.31	-	-	-	
1 階高のゆとり										
2 空間の形状・自由さ				3.0	1.0	1.00	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31	-	-	-	
3.3 設備の更新性				0.3	3.0	0.38	-	-	-	
1 空調配管の更新性			② 中央式空調設備を持たない							
2 給排水管の更新性					3.0	3.0	0.17	-	-	-
3 電気配線の更新性					3.0	3.0	0.11	-	-	-
4 通信配線の更新性					3.0	3.0	0.11	-	-	-
5 設備機器の更新性					3.0	3.0	0.22	-	-	-
6 バックアップスペースの確保					3.0	3.0	0.22	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>						0.30	-	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出			独自③	v 2)土抜き花壇の設置			1.0	0.30	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			独自④	2)沿道に植栽計画			2.0	0.40	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				0.3	2.0	0.30	-	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			独自④	メッシュフェンス(H=1.800)取付、歩道用防護柵カートハイ73段(H=800)取付			2.0	0.50	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上						2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>										3.2
<b>LR1 エネルギー</b>						0.40	-	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=	3.0	1.0	0.30	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用					3.0	3.0	0.20	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化				BEI=0.45	3.0	5.0	0.30	-	-	5.0
4 効率的運用					0.2	3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価					1.0	3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング					3.0	3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制					3.0	3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価										
4.1 モニタリング										
4.2 運用管理体制										
<b>LR2 資源・マテリアル</b>						0.30	-	-	-	3.3
1 水資源保護					0.1	3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水					3.0	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					0.6	3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.67	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					0.6	3.0	0.63	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減				QLデッキ合成スラブ		3.0	0.07	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				-		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			② 独自	-		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				-		3.0	1.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材						3.0	2.0	0.05	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	LGS+PB、OAフロア		3.0	5.0	0.24	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					0.2	4.3	0.22	-	-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					0.6	5.0	0.68	-	-	
1 消火剤				スプリンクラー設備、消火器(A.B.C型)		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				発泡剤を用いた断熱材等を使用していない		5.0	1.00	-	-	
3 冷媒				空調機器の設置なし=冷媒ガスを使用していない		3.0	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>						0.30	-	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			①	ライフサイクルCO2排出率62%		4.5	0.33	-	-	4.5
2 地域環境への配慮					0.3	2.7	0.33	-	-	2.7
2.1 大気汚染防止				燃焼機器無し(電気温水器のみ)		5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				II 5②空調機器の設置なし=空調用の屋外機設置なし		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					0.2	2.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			独自			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			独自			1.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制						1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					0.3	3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					0.4	3.0	0.40	-	-	
1 騒音			独自	規制対象外		3.0	1.00	-	-	
2 振動			独自	規制対象外		-	-	-	-	
3 悪臭				規制対象外		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					0.4	3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				自主的な対策を評価しない		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					0.2	3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				屋外照明ではLED照明設備とし、広告物照明を行っていない		4.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	

**重点項目スコアシート**  
**(仮称)知多市新舞子計画**

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>4.5</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.5	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.8</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.3	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>1.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:9.5%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>				<b>1.0</b>
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用  $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$  の総和

重点項目スコア=  $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)知多市新舞子計画

計画上の配慮事項	
総合	省エネに配慮した計画としている。
Q1 室内環境	F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。
Q2 サービス性能	部材の耐用性・信頼性に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)	特になし
LR1 エネルギー	BEIm=0.45
LR2 資源・マテリアル	自動水栓や、節水型便器などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率を60%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。
その他	特になし